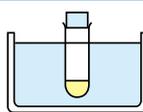
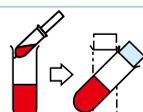
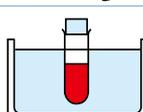
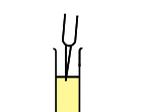


項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名
血液凝固検査	0432 フィブリノーゲン <small>2B100-0000-022-311</small>	1種につき 血漿0.5 (容器1本にて3項目同時測定可)	23	(分離後)凍結	1~2	23 血液	トロンビン法	mg/dL 200~400	3.2%のクエン酸ナトリウム0.2mLに血液1.8mLの割合で採血し、転倒混和を5~6回繰り返した後に、速やかに血漿分離してください。凝固やフィブリン析出の場合は検査不能となります。	脳梗塞 心筋梗塞 感染症 悪性腫瘍 DIC
	3497 プロトロンビン時間 (PT) <small>2B030-0000-022-311</small>		23	(分離後)凍結	1~2	18 血液	凝固時間測定法	PT 9.6~13.1秒 PT活性 70~130% PT-INR 0.85~1.15		外因系及び共通系凝固因子の先天性欠乏症及び分子異常症 重症肝障害 DIC 抗凝固療法のモニター
	0414 活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT) <small>2B020-0000-022-311</small>		23	(分離後)凍結	1~2	29 血液	エラグ酸活性化法	25.0~40.0		内因系及び共通系凝固因子の先天性欠乏症及び分子異常症 重症肝障害 DIC 抗リン脂質抗体症候群
	2361 血小板第4因子 (PF4) <small>2B620-0000-022-023</small>	血漿0.3 速やかに冷却遠心	27	(分離後)凍結 (1ヶ月)	3~7	178 血液	EIA法	ng/mL 20以下	必ず専用容器にて採取 ※02 下記参照のうえ操作は厳守のこと	DIC 血栓症 腎不全 血小板減少症 骨髄増殖性疾患
	5359 β-トロンボグロブリン (β-TG) <small>2B600-0000-022-023</small>	血漿0.3 速やかに冷却遠心	27	(分離後)凍結 (1ヶ月)	3~7	176 血液	EIA法	ng/mL 50以下	※02	

INR=PR^{ISI} (INR計算式) PR (プロトロンビン比) = $\frac{\text{患者血漿のPT値 (秒)}}{\text{正常血漿のPT値 (秒)}}$

ISI:トロンボプラスチン試薬の国際感度指数

β-トロンボグロブリン (β-TG)、血小板第4因子 (PF-4) の採血方法

容器形態	検査項目	保存	採取方法	注意事項																									
 (真空採血禁止) 内容 テオフィリン アデノシン ジピリダモール クエン酸ナトリウム クエン酸 貯蔵方法 遮光・冷蔵 有効期間 製造から1年	β-トロンボグロブリン (β-TG)	凍結	 あらかじめ専用容器 (27) を冷却しておいてください。	砕氷水の水面より専用容器中の液面が下になるようにしてください。角氷は使用しないでください。																									
			 できるだけ20ゲージ (19~21ゲージでも可) の針を用いたプラスチック注射器で血液3.0mLを採取してください。(採血にあたって、専用容器 (27) を使用しての直接採血は絶対にしないでください。)	真空採血管、カテーテルおよび他方法は使用しないでください。また、駆血帯も使用しないでください。10mL以上の採血は避け、出来るだけ血管壁を損傷しないようにスムーズに採取してください。																									
			 針を取って静かに専用容器 (27) のフタを開け、血液2.7mLを静かに移し、ゆっくり2~3回転倒混和してください。	指定の専用容器以外は使用しないでください。専用容器は振とうさせないでください。																									
			 専用容器を速やかに砕氷水と水の入ったラックに入れてください。	砕氷水の水面より専用容器中の血液の液面が下になるようにしてください。																									
以上の操作を2分以内に行ってください。																													
	血小板第4因子 (PF-4)	凍結	 砕氷水に15~30分間放置後、採取血液を2000Gで30分間、2~4℃で遠心分離してください。(右表は2000Gにおけるローターの回転半径と回転数との関係を示します。) *遠心機回転数の計算式 $G = 1.118 \times 10^{-5} \times r \times n^2$ r:遠心機のローター半径 (cm) n:1分間あたりの回転数 (rpm)	1時間以内に必ず冷却下で遠心分離してください。																									
			 上清の表面よりやや下の部分をマイクロピペットで1項目につき0.3mL検体容器へ採取してください。血餅に近い部分からの採取は絶対に避けてください。 (血漿の全量採取は避けてください。) 検体は必ず凍結保存してください。(1ヶ月安定)	換算表 <table border="1"> <thead> <tr> <th>半径 (cm)</th> <th>回転数 (rpm)</th> <th>半径 (cm)</th> <th>回転数 (rpm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>4200</td> <td>22</td> <td>2800</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>3800</td> <td>24</td> <td>2700</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>3500</td> <td>26</td> <td>2600</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>3300</td> <td>28</td> <td>2500</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>3100</td> <td>30</td> <td>2400</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>3000</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	半径 (cm)	回転数 (rpm)	半径 (cm)	回転数 (rpm)	10	4200	22	2800	12	3800	24	2700	14	3500	26	2600	16	3300	28	2500	18	3100	30	2400	20
半径 (cm)	回転数 (rpm)	半径 (cm)	回転数 (rpm)																										
10	4200	22	2800																										
12	3800	24	2700																										
14	3500	26	2600																										
16	3300	28	2500																										
18	3100	30	2400																										
20	3000																												

血液学的検査



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名	
2351	凝固因子第2因子 <small>2B350-0000-022-311</small>	血漿0.4 <small>速やかに遠心</small>	23	(分離後)凍結(21日)	3~5	223血液	凝固時間法	75~135 %	※02	先天性プロトロンビン欠乏症 ワーファリン投与 ビタミンK欠乏症 肝不全 DIC	
2352	凝固因子第5因子 <small>2B370-0000-022-311</small>		23	(分離後)凍結(21日)	3~5	223血液	凝固時間法	70~135 %		先天性第V因子欠乏症 先天性第V因子・第VII因子合併欠乏症 肝不全 DIC	
2353	凝固因子第7因子 <small>2B380-0000-022-311</small>		23	(分離後)凍結(21日)	3~5	223血液	凝固時間法	75~140 %		先天性第VII因子欠乏症 ワーファリン投与 ビタミンK欠乏症 肝不全 DIC	
2354	凝固因子第8因子 <small>2B390-0000-022-311</small>	血漿0.3 <small>速やかに遠心</small>	23	(分離後)凍結	3~6	223血液	ヒト欠乏血漿による補正法	78.0~165.0 %	3.2%のクエン酸ナトリウム0.2mLに血液1.8mLの割合で採血し、転倒混和を5~6回繰り返した後、速やかに血漿分離してください。	※01 血友病A 血友病A保因者 von Willbrand病 DIC	
2355	凝固因子第9因子 <small>2B400-0000-022-311</small>	血漿0.4 <small>速やかに遠心</small>	23	(分離後)凍結(21日)	3~5	223血液	凝固時間法	70~130 %		※02 血友病B 血友病B保因者 DIC 肝不全 ワーファリン投与 ビタミンK欠乏症	
2356	凝固因子第10因子 <small>2B410-0000-022-311</small>		23	(分離後)凍結(21日)	3~5	223血液	凝固時間法	70~130 %	※02 先天性第X因子欠乏症 DIC 肝不全 ワーファリン投与 ビタミンK欠乏症		
2357	凝固因子第11因子 <small>2B420-0000-022-311</small>		23	(分離後)凍結(21日)	3~5	223血液	凝固時間法	75~145 %	※02 先天性第XI因子欠乏症 DIC 肝硬変		
2364	凝固因子第12因子 <small>2B430-0000-022-311</small>		23	(分離後)凍結(21日)	3~5	223血液	凝固時間法	50~150 %	※02 先天性第XII因子欠乏症 肝不全 ネフローゼ症候群 DIC		
2385	凝固因子第13因子抗原量 <small>2B440-0000-022-062</small>	血漿0.3 <small>速やかに遠心</small>	23	(分離後)凍結	3~4	223血液	ラテックス凝集反応	70~140 %	※01	先天性第XIII因子欠乏症 肝不全 DIC	
2358	凝固抑制因子検査 (凝固因子インヒビター) 第8因子 <small>2B460-0000-022-311</small>	血漿1.0 <small>単独検体</small>	23	(分離後)凍結	3~6	144血液	Bethesda法	1.0 以下 BU/mL	※01	補充療法を受けた血友病A患者の一部	
2359	凝固抑制因子検査 (凝固因子インヒビター) 第9因子 <small>2B470-0000-022-311</small>	血漿1.0 <small>単独検体</small>	23	(分離後)凍結	3~6	144血液	Bethesda法	1.0 以下 BU/mL	3.2%のクエン酸ナトリウム0.2mLに血液1.8mLの割合で採血し、転倒混和を5~6回繰り返した後、速やかに血漿分離してください。	※01	補充療法を受けた血友病B患者の一部
5423	vW因子抗原定量 (フォン・ウィルブランド因子抗原定量) <small>2B450-0000-022-062</small>	血漿0.2 <small>速やかに遠心</small>	23	(分離後)凍結(21日)	3~5	147血液	ラテックス凝集反応	50~155 %	3.2%のクエン酸ナトリウム0.2mLに血液1.8mLの割合で採血し、転倒混和を5~6回繰り返した後、速やかに血漿分離してください。	※02	von Willbrand病 腎疾患 慢性肝炎 川崎病急性期 肝硬変
1134	vW因子活性 (フォン・ウィルブランド因子活性) <small>2B480-0000-022-316</small>	血漿0.3 <small>単独検体</small>	23	(分離後)凍結	3~6	129血液	固定血小板凝集法	50~150 %		※01	

血液学的検査

23 3.2%クエン酸Na入り



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名
血液凝固・線溶系検査	0427 プラスミノゲン活性 (PIg) <small>2B260-0000-022-315</small>	血漿0.5 <small>速やかに遠心</small>	23	(分離後)凍結	3~5	100 血液	発色性合成基質法	75~125 %	3.2%のクエン酸ナトリウム0.2mLに血液1.8mLの割合で採血し、転倒混和を5~6回繰り返した後、速やかに血漿分離してください。 ※02	先天性プラスミノゲン欠損症・異常症 DIC 重症肝障害 抗凝固療法 血栓症
	0442 アンチプラスミン活性 (α2プラスミンインヒビター) <small>2B270-0000-022-315</small>	血漿0.5 <small>速やかに遠心</small>	23	(分離後)凍結 (1ヶ月)	3~5	128 血液	発色性合成基質法	85~115 %	3.2%のクエン酸ナトリウム0.2mLに血液1.8mLの割合で採血し、転倒混和を5~6回繰り返した後、速やかに血漿分離してください。 ※02	先天性α ₂ -PI欠損症・異常症 DIC 肝硬変症 肝静脈血栓症 肝嚢出血傾向 線溶亢進
	3312 アンチトロンビンⅢ (AT-Ⅲ) <small>2B200-0000-022-315</small>	血漿0.5	23	(分離後)凍結	1~2	70 血液	合成基質法	80~130 %	3.2%のクエン酸ナトリウム0.2mLに血液1.8mLの割合で採血し、転倒混和を5~6回繰り返した後、速やかに血漿分離してください。	先天性ATⅢ欠乏症・異常症 DIC 肝硬変症 静脈血栓症 肝炎 心筋梗塞
	3313 血中総FDP <small>2B120-0000-022-062</small>	血漿0.5	23	(分離後)凍結	1~2	80 血液	ラテックス免疫比濁法	5.0以下 μg/mL		DIC 血栓性血小板減少性紫斑病 血栓症 溶血性尿毒症症候群
	0430 尿FDP <small>2B120-0000-001-062</small>	尿1.0 (蓄尿不可)	11	冷蔵	3~5	72 尿糞	ラテックス凝集法	0.1以下 μg/mL	抗プラスミン剤とトロンビン入り容器に新鮮尿1.0mL採取し、容器のままご提出下さい。 ※01	DIC 糸球体腎炎 ネフローゼ症候群 妊娠高血圧症候群
	3503 可溶性フィブリンモノマー複合体 (SFMC) <small>2B110-0000-022-062</small>	血漿0.4 <small>速やかに遠心</small>	23	(分離後)凍結 (21日)	3~5	93 血液	LPIA法	7未満 陰性 μg/mL		DIC 血栓症 凝固亢進
	4526 フィブリンモノマー複合体 (FM定量) <small>2B110-0000-022-062</small>	血漿0.3	23	(分離後)凍結	3~4	221 ^① 血液	ラテックス免疫比濁法	6.1以下 μg/mL	3.2%のクエン酸ナトリウム0.2mLに血液1.8mLの割合で採血し、転倒混和を5~6回繰り返した後、速やかに血漿分離してください。 ※01	血栓症 DIC 体内凝固亢進状態 大動脈瘤
	1204 D-Dダイマー定量 <small>2B140-0000-022-062</small>	血漿0.5	23	(分離後)凍結	1~2	130 血液	ラテックス免疫比濁法	1.0以下 μg/mL		血栓症 DIC 体内凝固亢進状態 大動脈瘤

① フィブリンモノマー複合体は、DIC、静脈血栓症又は肺動脈血栓症の診断及び治療経過の観察のために実施した場合に算定する。トロンビン・アンチトロンビン複合体 (TAT)、プロトロンビンフラグメントF1+2及びフィブリンモノマー複合体のうちいずれか複数個を同時に測定した場合は、主たるもののみ算定する。

血液学的検査



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名
血液凝固・線溶系検査	5495 α2プラスミンインヒビター・プラスミン複合体 (PIC) <small>2B280-0000-022-062</small>	血漿0.3	23	(分離後)凍結	3~4	154血液	ラテックス凝集法	μg/mL 0.8以下	3.2%のクエン酸ナトリウム0.2mLに血液1.8mLの割合で採血し、転倒混和を5~6回繰り返した後、速やかに血漿分離してください。 ※01	DIC等の線溶亢進状態 血栓溶解療法下の状態
	3249 トロンビン・アンチトロンビンⅢ複合体 (TAT) <small>2B210-0000-022-052</small>	血漿0.4	23	(分離後)凍結	3~4	176 ^① 血液	CLEIA法	ng/mL 4.0未満	※01	深部静脈血栓症 DIC、急性心筋梗塞 大動脈瘤
	0456 プロテインC活性 <small>2B700-0000-022-311</small>	血漿0.4 <small>速やかに遠心</small>	23	(分離後)凍結	3~5	234血液	凝固時間法	% 64~146	3.2%のクエン酸ナトリウム0.2mLに血液1.8mLの割合で採血し、転倒混和を5~6回繰り返した後、速やかに血漿分離してください。 ※02	先天性プロテインC欠乏症 DIC 肝細胞障害 抗ビタミンK製剤投与
	5215 プロテインC抗原量 <small>2B700-0000-022-062</small>	血漿0.3 <small>速やかに遠心</small>	23	(分離後)凍結	3~6	232血液	LPIA法	% 70~150	※02	先天性プロテインC欠乏症 DIC 肝細胞障害 抗ビタミンK製剤投与
	4963 プロテインS活性 <small>2B710-0000-022-311</small>	血漿0.4 <small>速やかに遠心</small>	23	(分離後)凍結	3~5	163血液	凝固時間法	% M 67~164 F 56~126	※02	先天性プロテインS欠乏症 DIC 肝細胞障害 抗ビタミンK製剤投与 妊娠 経口避妊薬 (常時)
	3502 プロテインS抗原量 <small>2B710-0000-022-062</small>	血漿0.2 <small>速やかに遠心</small>	23	(分離後)凍結 (21日)	3~5	158血液	ラテックス凝集反応	% M 73~137 F 59~143	※02	先天性プロテインS欠乏症 DIC 肝細胞障害 抗ビタミンK製剤投与 妊娠 経口避妊薬 (常時)
	4575 ループスアンチコアグラント <small>5G501-0000-022-311</small>	血漿1.0 <small>速やかに遠心</small>	23	(分離後)凍結 (21日)	3~5	273 ^② 免疫	希釈ラッセル蛇毒時間法	1.2以下	*1 ※02	原発性抗リン脂質抗体症候群 (APS) SLE 習慣性流産

① トロンビン・アンチトロンビン複合体 (TAT)、プロトロンビンフラグメントF1+2及びフィブリンモノマー複合体のうちいずれか複数と同時に測定した場合は、主たるもののみ算定する。

② ループスアンチコアグラント定量及び同定性は、希釈ラッセル蛇毒試験法又はリン脂質中和法により、抗リン脂質抗体症候群の診断を目的として行った場合に限り算定する。

*1 採血後、速やかに室温で1500G以上15分間遠心後、パフィーコートより5mm以上うえから血漿を採取して凍結保存にてご提出ください。血小板の混入は、測定結果に影響しますのでご注意ください。

※遠心器回転数の計算式

$$G = 1.118 \times 10^5 \times r \times n^2$$

r : 遠心器のローター半径 (cm)

n : 1分間あたりの回転数 (rpm)

23 3.2%クエン酸Na入り

